■カリスマ誌：**どうしてこの職務に就任することになったのですか?**

「ダッチ・シーツ師」がアメリカダラス市にある本校、クライスト・フォー・ザ・ネイションズ聖書学院（CFNI）の校長として着任されました!（2012 年5月）

■カリスマ誌のインタビューに答えて CFNI のビジョンと使命、今の時代に覚醒の炎を燃え立たせる事について熱く語りました。（対談）

■シーツ：私は CFNI と何年ものつながりがあります。妻のセシと私は二人とも 70 年代後半に CFNI の学生として学びました。79 年と 80 年には、私はここで礼拝をリードする働きをしました。それから何度か非常勤として教えたり、ここ数年も年に数回ですが、学生たちに対してメッセージをする機会を頂きました。ですから、私はデニス＆ジンジャー・リンゼイと素晴らしい関係をずっと持ち続けているのです。

以前デニスから、このポジションについて考えてみて欲しいと頼まれた事がありました。しかし、その時は私は牧会をしていて、ここが自分達の居場所だと確信していました。しかし今回は違いました。私はここ 2 ～ 3 年の間、自分の職務と次の任務との狭間にいることは分かっていましたが、主が次に何をご計画されているのか明確にはわかりませんでした。そして旅をしながらの執筆中でもありました。しかし約 1 カ月前にこの話しが持ち上がった時、これは主かもしれないと、心から感じました。なぜなら私は若い世代に対してとても熱い情熱を持っているからです。

私はこの国に、そして他の国々に大覚醒が来るのを見たいという情熱を感じています。私はここ数年の間、この情熱とエネルギーのほとんどをより若い世代の人たちに注ぐことに焦点を当ててきました。私がずっと渇望してきたもので、これ以上のものはありません。しかし、私は自分がこの立場にいることを考えたことはありませんでした。旅をしながら本を書くことから身を引くことなど、私自身全く考えた事もなかったので、このようなことは思い描いたこともありませんでした。これからも私は、週末には旅立ち、アメリカ国内でカンファレンスや集会を行っていきます。神様が私にさせたいと感じていること、この国のあらゆる町々に出て行って、祈りと霊的覚醒をかきたてることを、私はやめることが出来ないのです。

■カリスマ誌：**CFNI のためのあなたのビジョンは何ですか?**

■シーツ：主が私にビジョンとアイディアを与えてくれたと信じます。CFNI がすでに強い学問的価値を持っているように、CFNI を覚醒のための真の拠点、また、声とならせることができるように主が私たちを助けて下さると信じます。CFNI は偉大な、とても偉大な教えを持っています。CFNI は過去 30 年間において、ワーシップ・ムーブメントにおける触媒（刺激するもの）としての働きをしてきました。ゴードン・リンゼイのもと、CFNI は地上における主導的な声の一つであり、神がカリスマ運動およびジーザス・ムーブメントの中で為されていたことと共にいました。

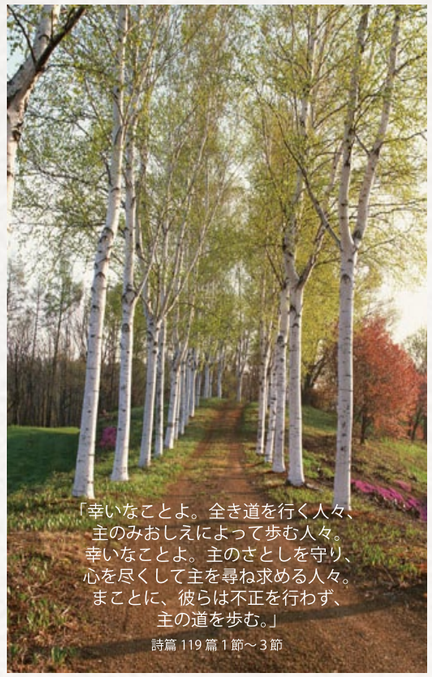
私はここが先鋒あるいは先端となることができる場所であると強く信じます。その場所では、このリバイバルのメッセージと覚醒が大きな声で告げられます。これこそ私の心であり、これこそ私の本質です。もしわたしがここで何かするなら、わたしはそのメッセージをもたらします。私はここをリバイバルの炎を再び燃やすことができる場所にしたいし、幸運なことにその油注ぎの中で動くたくさんの人々を私は知っています。

■カリスマ誌：**実際に、どのようにそのビジョンを実行しますか?**

■シーツ：ここに、覚醒の炎を燃え立たせることのできるたくさんの声と賜物を連れてきます。彼らを会議や夕拝、月曜から金曜の午前 11 時からのゲスト講義枠に招きます。私たちは今まさに新しいグレート・アウェークニング（大覚醒）に移行しようとしていると私は信じます。今、神がここで、また他の国々でなさろうとしていることは巨大なものになると信じています。

私の強い願いは、私たちだけがということではなく、私たちもこのムーブメントを動かすエンジンにならせてもらえることです。「私たちだけが」ということをほのめかしているわけではまったくありません。しかし、人々がここに来て、そしてここから出ていき、いつもこの覚醒のメッセージ：「神が地上にこう言っています。」を大きな声で知らせる様々な場所の一つでありたいということです。私たちには機関誌があります。私たちには設備があります。私たちには歴史があります。CFNI は、ワーシップ音楽を流通させるために、インテグリティ・ミュージックと契約を結んだばかりです。CFNI は神が地上でなされていることの情報と声の情報交換センターになることができるように私は感じています。私たちには 40 カ国から来ている 309 人の学生がいるので、クライスト・フォー・ザ・ネイションズは地球の多くの場所に触れています。

ダッチ・シーツ、独占オンライン・インタビュー、カリスマニュース・ドットコム



2学期、10月･11月の ゲストスピーカーのご案内

●ゲストスピーカーの授業は、どなたでも無料で聴講出来ます。（自由献金制、テキスト代有料。）通常の授業も聴講が出来ます（有料）又、入学を検討しておられる方には、無料体験入学制度もありますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。

新入生の紹介

2012 年9月 10 日、ゲストに有賀喜一師をお迎えし、入学式が執り行われました。これからの歩みのためにお祈りください。

大森 正樹（東京都出身）

「神様の導きにより、この学院に入学できたことをとても嬉しく思っています。かねてから聖書の学びをしたいと思っていたので、祈りが聞かれて感謝です。神様と向き合う時間がとれて、神様の御心を知れたらいいなと思います。主に栄光を帰すように頑張りたいと思います。」

10月22日（月） 1･2･3時間目

岸 義紘師

巡回伝道者。JTJ 宣教神学校創立学長。ムラサキスポーツ競泳チーム監督兼選手。サキソフォンソロアルバムをリリース。コンサート活動、著書多数。

10月23日（火）～26日（木） 1･2時間目

ダニエル・マカーティ師

ダニエル・マカーティー師は、家族と共に20年以上東南アジアで開拓宣教師として働く。ハッピー・ファミリー海外ミニストリーの創設者、又はディレクターとして、それぞれフィリピンとビルマで聖書学校を創立。著書には、妻と8人の子供と共にアジアで宣教をしてきた証し、"Is God Cool or What !"がある。

11月13日（火）･14日（水） 1･2時間目

手束 正昭 師

日本基督教団高砂教会主任牧師。日本民族総福音化運動協議会理事・事務局長。日本基督教団聖霊刷新協議会世話人代表。日本リバイバル同盟評議員。「キリスト教の第三の波―カリスマ運動とは何か―」他著書多数。

11月13日（火）･14日（水） 3時間目

アンドリュー・インブリー・手束 師

結婚＆家族関係 認定臨床セラピスト。兵庫県高砂市にあるコーチング、カウンセリングおよびコンサルティングの専門機関である、ライフ＆ファミリーライフ･センター創立者、及び、ディレクター。高砂教会主任牧師の手束師の義理の息子にあたる。

11月19日（月） 1･2時間目

進藤 龍也 師

〔罪人の友〕主イエス・キリスト教会牧師。刑務所伝道ミニストリー代表。VIP 川口ホープチャレンジ代表。18歳の時、ヤクザにスカウトされ組員となり刑務所に服役。その後、差し入れされた聖書を読み回心する。JTJ 宣教神学校卒業。就学中より刑務所伝道を始める。